

シニア世代を対象としたプログラム展開例(45～60分)

パパ・ママ応援団になろう！

～時代の変化に対応した家庭教育支援とは？～

☆プログラムのねらい

- ・ 子育ての現状・課題や、時代の変化に対応した家庭教育支援の在り方を理解する。
- ・ シニア世代の経験が今後の家庭教育支援に生かされることに気づくとともに、生きがいにもつながることを理解する。

時間	進め方	準備物等
導入 10分	<p>アイスブレイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者の自己紹介等から始めて場を和らげ、温かい雰囲気を作る。 ・ 4人程度のグループを作る。 <p><ルールとマナーを確認する></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 積極的に参加しましょう ● 一人一人の考えや思いを尊重しましょう。 ● 話合いの内容が個人的な批判や中傷にならないように気をつけましょう。 	アイスブレイク集の中から
展開 30～ 45分	<p>ワーク1</p> <p>グループで、親戚、知人、地域等の子育て中の保護者等の様子について話し合わせる。</p> <p>※ ファシリテーターは、グループの話合いの様子を確認しながら、参加者が、家庭や保護者に対し、どのような問題意識を持っているか把握する。</p> <p>資料</p> <p>一位から順に紹介していき、ワーク1での話合いを踏まえながら、最近の保護者が多くの悩みを抱えていることを理解させる。</p> <p>ワーク2</p> <p>① グループで、自分がこれまで実践してきたこと、自分がこれからできること、地域で取り組んでみたいことなどを自由に出してもらおう。</p> <p>② グループで代表を決め、グループ内で話し合ったことを、全体に紹介してもらおう。(主なものを紙に書かせ、それを見せながら紹介してもらおう。)</p> <p>※ ファシリテーターは、それらのアイデアを実現していくための相談先(行政機関等)がわかれば、紹介する。</p> <p>「うれしかった」あの言葉</p> <p>吹き出しの内容を紹介する。</p> <p>※ ファシリテーターは、子育て中の保護者にとっては、ちょっとした声かけでも嬉しいこと、大げさな仕掛けは不要であることを伝える。</p>	ワークシート グループの意見をまとめる 広幅用紙、マジック
まとめ 5分	<p>いまどきパパ・ママ応援団 成功の秘訣！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の簡単なコミュニケーションが、困ったときに相談できる関係につながることを、シニア世代の方が、自分たちより若い保護者世代を受け入れようという姿勢で臨むことが大切であることを伝える。 ・ 子どもたちとの関わり方については、世代によって考え方に違いがあることを、それぞれの保護者がこだわりを持って子育てや家庭教育に取り組んでいること、シニア世代の考え方を押しつけてはいけなことを伝える。 <p><ルールとマナーを確認する></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 講座で知り得た個人情報外へ持ち出さないようにしましょう。 	

※ 時間は必要に応じて調整してください。